科目名	-	プロジ	, T	クトワ	一クス	スキル										
科目名(英)																
単位数		1単	単位		時	間数	28	時間	担当者	ħ	公嶋 貴志					
実施年度		2019	9年度	<del></del>	実施	時期	前	前期	実務家教員 担当科目	1						
対象学科・学年	4	青報シス <sup>-</sup>	テムコ	——— 専攻科 (	 3年				######################################							
											に報道されてい					
授業概要	4								」の向上がます ベースに現場で		れている。 的なマネジメント					
1-1 - No 10			_			とを目指										
授業形式 —————	講	義: <b>(</b>	態度	演習:	Δ	実習:		技:		:る方法:〇	その他:△					
	情報	技能 技能	意欲	その他	パン・クトフ	さいかん	に関する其磁	目標 日語およびプロ		が説明できる						
<b>学邓口福</b>		プロジェクトマネジメントに関する基礎用語およびプロジェクトの流れが説明できる														
学習目標 (到達目標)		0	実践的なシステム開発において、プロジェクトメンバーとしての心構えを持って行動できる													
					TOTAL											
テキスト・教材 参考図書	F	PMプロジェクトマネジメント(日本能率協会マネジメントセンター)														
	回数															
	1	1 序章 プロジェクトマネジメント PMBOKとは       教科書の該当範囲を事前に読んでおくこの         2 Step1 プロジェクトの発足 Step2 プロジェクト目標       教科書の該当範囲を事前に読んでおくこの         3 Step3 ワークパッケージ(WBS1)       教科書の該当範囲を事前に読んでおくこの														
	2															
	3															
	4	Step4 衫	ひ割り かいりゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	か担と所	要時間見	教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと								
	5	Step5 7	スケジ	ブュール <i>′</i>	作成		教科書の該当範	が囲を事前に読 <i>/</i>	しでおくこと							
	6	Step5 オ	ト ット	ワーク図	[]とクリテ	ィカルパス	ス		教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと					
授業計画	7	Step5 7	スケジ	<sup>ブ</sup> ュール(	(ネットワ-	ーク図、カ	ブントチャ <b>ー</b> ト	)作成	教科書の該当範	が囲を事前に読 <i>/</i>	しでおくこと					
汉末时凹	8	Step5 7	スケジ	ブユール(	(ネットワ-	ーク図、カ	ブントチャ <b>ー</b> ト	)作成								
	9	確認テス	スト1						授業内容に係る おくこと	確認テストを実	施するので、復習して					
	10	Step6 3	予算、	その他	計画				教科書の該当範	が囲を事前に読 <i>り</i>	しでおくこと					
	11	Step7 1	ノスク	に備える	5.Step8	ベースラ	イン設定		教科書の該当範	が囲を事前に読 <i>り</i>	しでおくこと					
	12	Step9	実行	とコントロ	ロール、S	Step10 フ	プロジェクト終	了	教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと					
	13	確認テス	スト2						授業内容に係る おくこと	確認テストを実	施するので、復習して					
	14	まとめ														
	15															
			.トを:	2回実施	jする。(2)	出席回数	数を評価する	。(3)授業態	度の注意が多	い学生に対し	- 減点評価をお					
	こな		進は	. S(90 f	点以上)・/	A(80点以	上)•B(70点	以上) • C(60点	i以上) • D(59 g	点以下)とする	<b>5</b> .					
	7704.	X11 III 1				語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合					
		確認テス		 記. 2回		○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	◎	<b>建劉权能</b>	忠及"总狱	ての他	80%					
評価方法				受業態度	• •				0		20%					
履修上の注意	出	席が10回	](全1	4回)に流	満たない	場合は単	位認定できな	<b>こし</b> 、								

											-					
科目名	1	情報処理試験春期対策ⅢA														
科目名(英)																
単位数		3単	单位		時	間数	46₽	寺間	担当者	<b>畠添、藤澤</b>	、今村、村上、古賀、相原、 、木村、打越、久保山、姫 野、西野、山下					
実施年度		2019	9年月	复	実施	 時期	前	期	実務家教員 担当科目		野、白野、山 F					
対象学科・学年	ψ.	<del></del> 青報シス	テム	.科•	 情報システ <i>』</i>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u> </u> •情報工学科	  ·雷子シスラ		ットワークセ	セキュリティ科 3年					
7380 3 14 3 1	-	птихх		• 1: 1	IN TWO / 1 / -	- 0 - 2 11	11 C — 3 F									
授業概要									各受験区分 <i>の</i> の演習を行う。		じた用語や知					
授業形式	講	義: (	Э	演	習: 0	実習:	実	 技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△					
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他		1	<b>'</b>	目標								
	0	0			試験範囲内の	の専門用語	語について学び	び、意味を説り	月することができ	る。						
学習目標 (到達目標)		0			試験範囲内	、験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みついて説明することができる。										
(刘建日保/																
テキスト・教材																
参考図書	2	各受験区分で指示があります。 -														
	回数															
	1-5	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚え 確認テストの範囲の復習をしておくこと。 た用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。														
		確認テスト 間違えた問題のやり直しを実施すること。 理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の 確認テストの範囲の復習をしておくこと。 1 確認テスト 間違えた問題のやり直しを実施すること。														
		理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、応用的な難易度の 確認テストの範囲の復習をしておくこと。 午後問題を中心に実施する。														
		確認テス		1 1011					間違えた問題	のやり直しを	実施すること。					
1 Alla = 1																
授業計画																
	(1)7		(筆	記):	 を実施する。	ナーだし。[	国家試験を足	宇期試験とみ	なす。							
	以上	上を下記	の観	息点•	割合で評価	する。			60点以上)·D	/50 占いて	<b>\ L <del></del> </b>					
	八九	具計加型	:华16	7,2			T	T			ı					
		= <sub>0+</sub>	<b>↓</b> F△	/ <del>///-</del> =		語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合					
評価方法											100%					
計画力及																
履修上の注意																

科目名	情報処理試験秋期対策ⅢA														
科目名(英)															
単位数		2萬	单位		時	間数	328	寺間	担当者	村_	T越、西野、久家、 L、柴内、木村				
実施年度		2019	9年月	复	実施	施時期	前	期	実務家教員 担当科目						
対象学科・学年	4	青報シス	テム	.科•	情報システ	ム専攻科	•情報工学科	・電子システ	ーム工学科・ネ	ットワークも	ヹキュリティ科 3年				
授業概要									各受験区分のの演習を行う。		じた用語や知				
授業形式	講	義: (	)	演	習: 0	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能		その他	試験範囲内	の専門用	語について学び	目標び、意味を説明	! 見することができ	÷వం					
学習目標	○ 試験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みついて説明することができる。														
(到達目標)															
テキスト・教材 参考図書	4	各受験区分で指示があります。													
	回数														
	1-5	た用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。													
	11														
		- 理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、応用的な難易度の 確認テストの範囲の復習をしておくこと。 5 午後問題を中心に実施する。													
		確認テス							間違えた問題の	のやり直しを	実施すること。				
松 # 土 面															
授業計画															
	以上	-を下記	の観	息点•	を実施する 割合で評価 (90点以上)	する。	以上)•B(70	点以上)•C(	60点以上)•D	(59点以下)	とする。				
					1	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
			認テ			0	0		_		60%				
評価方法		出席状	況・拮	受業	態度				0		40%				
履修上の注意			_	_											

			-												
科目名	We	bア	'プ	リ	ケー	-ショ: 	ノ開発演	習Ⅱ							
科目名(英)															
単位数		9	単位	立			時間数	140	時間	担当者		西野 直幸			
実施年度		20	19年	度		;	実施時期	前	ī期	実務家教員 担当科目	L	0			
対象学科・学年	情報	シス	テム	専攻	科	3年									
授業概要	方、元	チーム	開発	の難	しさ、		ることの達成原		<b>れを体験する。</b>	その中で、スケシ	<b>ジュール管理</b> 、	. 仕事の割り振り			
授業形式	講義	<b>:</b>	_	Δ	演	習: (	) 実習:	実	 技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他				目標	·-·					
	0	0				-			-	のスケジュール ージョン管理が		<b>きる</b> 。			
学習目標 (到達目標)	0	0					・埋ソールを1 で開発を行い				· できる。				
						,		(1)11)01)3000	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
テキスト・教材 参考図書	スツ	スッキリわかるサーブレット&JSP入門(インプレス)													
	回数					技	受業項目•内?	容		1	授業外学修	指示			
	1		チーム発表・イントロダクション												
	2-3	企画			- 一ムで企画書	を作成しておく									
	4-5	企画				O:: =#	าก								
	6					GitHub講 ———— :-	:省		レビュー結果を受	そけチームで企	画書を修正しておく				
	7-8 9-18	-			再レビ					レビューに向けて					
	19-18			-	人山市	灭				レヒューに同け	設計者を17人				
	21-25				ŧ					レビューを受けて	・設計聿を修正				
	26	設計								VC1 EXIT	. 欧田 自と沙正	0 (03)			
授業計画						<u></u> ごュー・個 ノ	 人面談			進捗レビューにも	こけてメンバーの	 D進捗管理をしておく			
	32-36									進捗レビューにも	こけてメンバーの	か進捗管理をしておく			
	37-41									進捗レビューにも	こけてメンバーの	 D進捗管理をしておく			
	42-46	開発	作業	*・進	捗レビ	 :				進捗レビューにも	こけてメンバーの	 D進捗管理をしておく			
	47-51	開発	作業	• 進	捗レビ	<u> </u>				進捗レビューにも	こけてメンバーの	 D進捗管理をしておく			
	52-56	開発	作業	• 進	捗レヒ	<u>-</u>				進捗レビューにも	こけてメンバーの	か進捗管理をしておく			
	57-61	開発	作業	•進	捗レヒ	<u>-</u>				進捗レビューにも	ごけてメンバーの	 D進捗管理をしておく			
	62-66	開発	作業	* 進	歩レヒ	ュー・個ノ	人面談			進捗レビューにも	ごけてメンバーの	の進捗管理をしておく			
	67-68	開発	作業	* 進	捗レヒ	<u>-</u>				成果発表会に向	けて、開発を終	わらせておく			
	69-70	成果	発表	会											
	以上を	下記(	の観	点・	割合	で評価す	る。			の意欲・役割。 (上)・D(59点)		,			
							言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
評価方法						E成度 ・	0	0				50%			
		出席を				支 ∙確認		0		0		30%			
	<u>ы</u> пУ		/H /	· IX		a도 MIO				•		3070			
履修上の注意	出席が	`47回	[全	70回	)に清	あたないは	場合は単位認	定できない。							

					0									
科目名	_ =	E۱	バイル	ア	ブリク	ァーショ	ョン	開発演	習					
科目名(英)														
単位数			9単位			時間数		140	時間	担当者		美穂·村上	香代	
実施年度		2	2019年度	ŧ		実施時期		前	期	実務家教員 担当科目	l			
対象学科・学年	悼	青報:	システム	専攻	科 3年						·			
授業概要	₹ +	E習得 ナンフ	导する。 プルプロ・	ゲラム	の作成		題の	)作成を通し、		開発、端末での リケーション開				
授業形式	講	義:	Δ	演習	፤:	[美	習:	実	技:	※ 主たる方法:O その他: △				
学習目標(到達目標)	言語情報	知的技能	連動 態度 意欲			₹ -ムワークの利 ケーションの§								
テキスト・教材 参考図書	作ればわかる!Androidプログラミング第4版(翔泳社)													
	回数 授業項目・内容 授業外学修指示													
授業計画	4-6 7-8 9-11 12-14 15-17 18-20 21-23 24-26 27-29 30-32 33-35 36-38	実 イ 明 値 ツ お 計 List 店 Broad	す確認、A アウト作 然的イン・ う受け渡 タッチ染 くじアプ Viewの和 記紹介ア adcastR 特になった	Andro R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	idStudi 、イベン ールア: i成 成 作成 er、Log	oのファイル 小の割付 プリ 作成、 catの使い	・確認		·、AVD設定)	提出物の期限に 確認テストへ向に 提出物の期限に 提出物の期限に 提出物の期限に 提出物の期限に	ナてテキストを間に合うよう間に合うよう間に合うよう間に合うよう	E見直しておくこ に作業をするこ に作業をするこ	: <u>E</u> : <u>E</u> : <u>E</u>	
	36-38 〇時になったよアプリ 作成提出物の期限に間に合うように作業をすること39-41 SQLiteの利用1提出物の期限に間に合うように作業をすること45-47 メモ帳アプリ 作成、確認テスト提出物の期限に間に合うように作業をすること48-50 WebAPIの利用で画決め、レビュー、工程表作成51-53 企画決め、レビュー、工程表作成アプリ作成の下調べをしておくこと54-60 自主制作工程表の更新をしておくこと61 中間レビュー工程表の更新をしておくこと													
評価方法	88-70   発表プレゼンテーション												<b>削合</b> 6	
		出席	作品・多 話状況・指		 態度			0	0	© ©		30%		
履修上の注意	E	出席状況·授業態度 © 10%												

科目名	卒業研究A																
科目名(英)																	
単位数		3	3単(	立		時間	間数	5	6時間	担当者		姫野 マリ					
実施年度		20	19호	<b>F</b> 度		実施	時期		前期	実務家教員 担当科目	1						
対象学科・学年	情報	シス	テノ	」専攻科	3年												
授業概要	究B	にて	シス	テム開	発を行	<b>亍う</b> 。			ーションを行う		画書を基に	、後期の卒業研					
授業形式	講義	:	4	<b>△</b> 演	習:	0	実習:	:	実技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△					
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲					目相								
		0				ンステム企画の手順と発想手法を活用した発想グループワークができる。											
学習目標 (到達目標)		0				・ステム企画に含まれる技術要素の調査を行い、実現可能性を検討することができる。											
\刘建日保 <i> </i>		0				ルステム企画書を作成することができる。 ルステム企画のプレゼンテーションができる。											
		〇 システム企画のプレゼンテーションができる。															
	なし																
	回数		授業項目・内容 授業外学修指示														
	1-2	交業項目・内谷 投業が子修指が 卒業研究について概要説明 テーマ発表															
	3-4	ウォ	-—3	ングア	ップワ	 フーク											
	5-6	企業	<b>美様</b>	による講	義				講義レポートを	まとめ、提出す	ること						
	7–8	企画	書	 作成													
	9-10	企画	書	 作成					企画書を作成し	、レビューを受	ける準備を行うこと						
					(教員	によるレ											
	13-14	企運	書	 修正						中間レビュー10 こと	の指摘を反映し	、企画書を修正する					
授業計画	15-16	中間	引レ	 ニュー2	企業	美様による	 るレビュ-	<del>-</del> )		レビューのレポ-	ートをまとめ、拮	是出すること					
	17-18	企匪	書	 修正													
	19-20	企匪	書	 修正						中間レビュー20 こと	の指摘を反映し	、企画書を修正する					
	21-22	企画	ョプロ	 ノゼンテ	ーシ	 ョン準備											
	23-24	企画	 ョプl	 ノゼンテ	ーシ	 ョン準備				企画プレゼンテ	ーションの準備	まですること こうしょ					
	25-26	企匪	ョプロ	 ノゼンテ	ーシ	ョン(企業		j)									
	27-28	企画	書	修正、拐													
	以上を	下記	! の	見点・割	合で	評価する	0	ーションに。 下)とする。	よる評価会を実	に施する。							
						言	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合							
評価方法				レポート	•			0				20%					
				・作品	t <del>rit</del>			0		0		60%					
		口席书	<b>大</b> 况	•授業態	は皮					0		20%					
履修上の注意	出席	が19	9回(	全28回	)に満	たない場	易合は単	位認定でき	ない。	'							

科目名	ビジネスコミュニケーションⅢ															
科目名(英)																
単位数		1 単	並		時	間数	28	時間	担当者	ž	<b>圣坂美千代</b>					
実施年度		2019	年度	Į.	実施		前	 ī期	実務家教員 担当科目	l						
対象学科・学年	悄	青報システ		 専攻科 3	<del></del> 年				<u> </u>							
授業概要	B	寺間内で	、好E	印象を与	えながら	伝達し、		を得る表現力			ア等を限られた <b>`</b> 習得する。卒業					
授業形式	講	義: 4	Δ	演習:	0	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△					
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他				目標	• •							
		0	0		正しい日本語・敬語を学び、聴衆を前に話し、伝えることができる。											
学習目標 (到達目標)			0		グループワークで、自分の役割を果たし、積極的に発言し討議ができる。 発表時の立ち振る舞いを整えることができる。 卒業研究プレゼン時に、堂々としたプレゼンテーションができる。											
(21)Œ II 19K/		0	0	1												
テキスト・教材 参考図書	汀	演習プリント(オリジナル)														
	回数				授業	項目・内容	容			授業外学修	指示					
	1	オリエン	テー	-ション・	自己紹定	介			1分程度の自己	己紹介を準備し	しておくこと					
	2	話し方														
	3	伝え方														
	4	プレゼン	テー	ーションの	留意点											
	5	グループ	プ討詞	議·発表(	1)											
	6	グループ	 プ討i		2											
	7	ディベー														
授業計画	8	プレゼン	レー	-ション演	習①:(な	ブループワ	ーク)シナリオ	————— •資料作成								
	9	プレゼン	レー	 -ション演	習①:発	表			各グループで発	表できる状態ま	でに仕上げておくこと					
	10	プレゼン	レー	 -ション演	習②:(ク	ブループワ	ーク)シナリオ・	·資料作成								
	11	プレゼン	レー	 -ション演	習②:発	 :表			各グループで発	表できる状態ま	でに仕上げておくこと					
	12	卒業研究	 究プI	レゼンテ-	ーション:	事前準	備・リハーサ	ル								
		卒業研究									プは、当日までに終					
							・ボック・まと	·හ	わらせておくこと							
	15	1 2101313														
	(1) 評侃 以」	mする。 Lを下記の	の観	点•割合	で評価す	<sup>-</sup> る。			」 ヹンテーション <sup>:</sup> 点以上)・D(59		。(3)出席回数を る。					
					1	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
評価方法			トテス				0				10%					
			表•作				0		0		70%					
		田席 (天)	<b>兀 "</b> 打	受業態度					0		20%					
履修上の注意	出	席が10回	(全1	14回)に満	またないは	場合は単	<u>-</u> 位認定できな	にい。	<u>.                                      </u>		ı					

科目名	英語リーディング Ⅱ														
科目名(英)	_			7 1-											
単位数		1 肖	 単位		吐	 間数	20	 時間	担当者						
									実務家教員		田中 雅彦 				
実施年度		2019	9年度	Ę	実施	時期	自	<b>竹期</b> —————	担当科目						
対象学科•学年	竹	青報シス <sup>-</sup>	テム	専攻科	3年										
授業概要	[	目標とする	る。						本的な英語か		ようになることを				
授業形式	講	義: (	0	演習:	Δ	実習:	美	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度意欲	その他			·	目標	5						
	0				業界で必要となる語彙を理解し、使用することができる。										
学習目標	0	◎ 英語の文法的仕組みを理解し、英文を読んで理解することができる。													
(到達目標) 															
テキスト・教材															
参考図書	7	プリント													
	回数	授業項目•內容 授業外学修指示													
	1														
	2	代名詞、	 、IT身	———— 善善善					代名詞の確認を	してくること					
	3	力試しっ	テスト						IT英単語の復習	をしておくこと					
	Ě	4 動詞、IT英単語 IT英単語の復習をしておくこと													
		助動詞、IT英単語 TT英単語 TT英単語の復習をしておくこと TT英単語の復習をしておくこと													
									助動詞の確認を IT英単語の復習						
		形容詞·							IT英単語の復習						
授業計画	7	英語の	基本	となるバ	パーツ、ITヨ	英単語									
IXANIA	8	単語の	役割。	と文、IT	英単語				IT英単語の復習						
	9	文の種類	類、I	T英単語	1				IT英単語の復習	をしておくこと					
	10	主述の-	一致	、IT英単	語				IT英単語の復習	をしておくこと					
	11	パーツの	 の並・	ベ方、IT	英単語				IT英単語の復習	をしておくこと					
	12	現在形	 と現≀	 生進行用	·····································	語			IT英単語の復習	をしておくこと					
	13	過去形	と現る	午完了那	。 》、IT英単	 語			IT英単語の復習	をしておくこと					
		動詞の							IT英単語の復習	をしておくこと					
	-	まとめ、							正試験の準備を	しておくこと					
					5. (2)辞	全談テスト	·を数回実施	<u> </u>							
	以上	Lを下記(	の観	点・割合	で評価す	<del>-</del> る。			以上)、D(59点	気以下)とする	<b>5</b> .				
			·	) FA	言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
評価方法			期試			0	0				70%				
		出席状态	認った		F	0			0		10%				
		山伟状	<i>ι</i> υι * 15	<b>文</b> 未 忠 ß	2				<b>₩</b>		ZU70				
履修上の注意		毎回の課題は終わらせてから出席をすること。 出席が10回(全14回)に満たない場合は単位認定できない。													

科目名	就職実務Ⅱ																
科目名(英)																	
単位数			1単	位		時間	数	28	時間	担当者	į	姫野 マリ					
実施年度		2	2019호	丰度		実施田	 時期	育	 前期	実務家教員 担当科目	l						
対象学科・学年	/*	青報シ	ノステ	ム専	攻科	<b>」</b> 3年				123110							
授業概要	I	丁業界	『で仕	事が	・円滑に	行えるよう	うに、IT訓	業界の構造や	⇔仕組み、新し	しい流れを詳し	く知る						
授業形式	講	義:	0		演習:		実習:	美	技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△					
	言語情報	知的技能		態度意欲		美界の特徴			目相								
学習目標 (到達目標)				0	IT第	業界で働く心構えができる											
テキスト・教材 参考図書	t	世界一わかりやすいIT業界のしくみとながれ(ソシム)															
	回数																
	1																
	_																
	⊢			゛スと顧客⊥の講	義内容についてレ												
	⊢					顧客【IT第	ポートを作成する		721 Juliu 10								
	_	5 IT事業者のしくみ【IT事業者の組織と部門】         6 IT事業者のしくみ【IT事業者の売上と利益】															
	_					「事業有り  T事業者 <i>の</i>				「IT事業者のしく	み」の講義内容	についてレポートを作					
授業計画	⊢					件定義【ジ				成すること							
	-							の見積り】									
	-							の要件定義	]			講義内容についてレ					
	11	IT業	界の	新し	いなが	ーーーー れ【IT業身	 界の新し	い事業】		ポートを作成する	)						
	12	IT業	界の	新し	いなが	れ【IT業界	果の新し	い競合】									
	13	IT業	界の	新し	いなが	れ 【IT業界	界の新し	い問題】		「IT業界の新しいトを作成すること		内容についてレポー					
	14	IT業	界の	これが	から【	IT業界のこ	これから	.]									
	成約	責評個	<b>斯基</b> 準	は、	R(60点	[以上) • D (	(59点以	下)とする。									
						言語	吾情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
評価方法				ポート				0		_		60%					
21 22 2 2 2	_			<b>美態度</b>						0		20%					
	_		出席	ま状況	<b>光</b>					0		20%					
履修上の注意	Ŀ	出席な	ј 10回	](全1	14回)に	満たないは	場合は単	単位認定でき	ない。								